令和５年度　杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	２２２	学校名	仙台市立台原中学校	校長名	長沼　洋美

1　取組のタイトル，テーマ

【台原の地で 生き生きと！】

2　取組の紹介

① 今年度も、花壇を担当する全学年の緑化委員とボランティア生徒を募り、秋に花壇の花の総植え替えを行いました。ボランティア生徒が２０名近く集まり、作業がはかどりました。まずは花壇の土を柔らかくするために、皆で花壇の土を掘り返し、その際に土の中から春に植えたチューリップの球根を回収しました。その後は、届いた花の色や場所のバランスを生徒皆で話し合いながら、きれいに花壇を彩ることができました。

② 花壇の植え替え時に回収したチューリップの球根は、特別支援学級の生徒たちが先生たちと一緒に皮をむいて、乾燥させ、再植え替えができるように手入れをしました。この球根は、１２月に緑化委員が花壇に植えて、来春に芽が出るそうです。寒い冬を土中で過ごさせないとチューリップは咲かないらしく、それを知らなかった生徒や先生まで驚いていました。どんな色の花が咲くのか、とても待ち遠しいです。

③ 今年度から生徒会からの提案で、台原中学校の３本柱である「挨拶・掃除・行事」の一つ、挨拶運動を復活させました。これまでコロナ禍の影響でなかなか難しかった活動でしたが、１月から各クラスの生徒を募って行っています。日替わりで各クラスの生徒が昇降口前の花壇に列になり、元気な声で挨拶を響かせています。担当ではないクラスの生徒も挨拶運動の集団に加わってくれるようになるなど、「おはよう」という挨拶から学校全体の絆が強まっている雰囲気を日々感じています。

3　取組の成果（児童生徒の変容）

毎年行っている緑化委員会による花壇の植え替えですが、声を掛けると快く手伝ってくれる生徒も増え、ボランティアに対する気持ちは高まってきたように感じます。花壇への水やりも、担当の緑化委員以外の生徒が手伝ってくれることがあり、率先して取り組む姿が良い影響を周りに与えています。また、挨拶運動が始まって以来、校舎内で通りかかった際の生徒の挨拶の声が、これまで以上に聞こえるようになりました。これからも、生き生きと楽しい台原中学校を生徒たちが創り上げていけるように、さまざまな取組にチャレンジしていきたいと思います。